

こどもの病気対策法^{①24}

ーインフルエンザ流行期の肺炎ー

大分大学客員教授 是 松 聖 悟

11月号にてインフルエンザについてお話ししました。今月はインフルエンザ流行期の肺炎予防についてお話しします。インフルエンザウイルスによって肺炎はおきますので、うがい、手洗い、そしてインフルエンザワクチンが必要です。しかし、インフルエンザ流行期には、肺炎球菌の合併感染による肺炎も流行します。1918年のインフルエンザ(スペインかぜ)にて、世界で1億人の死者がでた原因も、合併感染した肺炎球菌と言われています。

このため、この時期には肺炎球菌ワクチンも済ませておきましょう。子どもは通常、0歳で3回、1歳で1回、13価肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施します。接種し忘れないか母子手帳で確認し、あればインフルエンザワクチンとの同時接種もできますので、医療機関にお問い合わせてください。6歳の誕生日の前々日までは接種可能です。ただし、5歳児は任意接種(有料)になります。

また、今年度に65歳になる／なった高齢者は、23価肺炎球菌ワクチンが定期接種として可能です。持病の種類によつては、60歳から65歳未満の方も接種できることがあります。さらに、現在、特別措置で、接種歴のない70、75、80、85、90、95、100歳の方も接種可能です。65歳以上で、上記以外の年齢の方も、任意接種として13価もしくは23価肺炎球菌ワクチンが可能です。

インフルエンザ流行期に合併感染する肺炎球菌も予防して、新たな1年をスタートさせましょう。

インフルエンザ流行期の肺炎予防の5つのポイント

- ・ インフルエンザは肺炎を起こす。
- ・ インフルエンザに合併感染する肺炎球菌も肺炎を起こす。
- ・ うがい、手洗い等を励行する。
- ・ インフルエンザワクチンに加え、肺炎球菌ワクチンも推奨する。
- ・ 予防接種歴や接種可能な年齢かを確認する。

